

あいりん地域を中心とする環境整備の取組み 【5か年計画】

平成26年4月

大阪府
大阪府警察本部
大阪市

あいりん地域を中心とする環境整備の取組み

趣旨

あいりん地域では、覚せい剤等の薬物取引や公園・道路におけるごみの不法投棄、道路を不正使用しての露店営業が依然として頻発している。

これらは当該地域の悪いイメージを形成する原因となっており、西成区の将来の発展のためには解決が急がれる問題である。特に平成27年度に予定されている「今宮中学校区小中一貫校」の開校に向けて通学路、周辺道路、公園などの環境改善が不可欠である。

このため、大阪市における西成特区構想【※】と呼応して、大阪府・大阪府警察・大阪市が協力し、地域の環境整備を強力に推進するための5か年の取組みをとりまとめた。

現状

○覚せい剤検挙事案

・覚せい剤の密売が日常的に行われており、他府県から覚せい剤を購入するためにあいりん地域へ来る者が後を絶たない。

・府内の薬物犯検挙人員(約2200人／過去5年平均)のうち約20%があいりん地域での検挙となっている。

○不法投棄ごみ

・他の地域に比べ、あいりん地域の回収量が非常に多い。(大阪市内の約27%を占めている。)

○露店営業

・道路を不正使用しての露店営業やわいせつDVDの露店販売などが日常的となっている。

これまでの取組みと成果

- ・薬物事案被疑者の徹底的な検挙(年間400～500名)
- ・不法投棄ごみ早朝回収の実施(通学時までの回収)
(平成25年11月～)

取組みの方向性

- ・西成特区構想【※】と呼応して大阪府、大阪府警、大阪市が相互に連携を密にし、それぞれの資源を投入して取組みを強化
- ・薬物対策として、取締活動を徹底するほか、薬物乱用防止の啓発や、薬物依存症者やその家族に対する治療・ケアの新たな取組みなど、総合的に取組み
- ・H27年度に予定されている「今宮中学校区小中一貫校」の開校に向けた通学路等の安全確保に重点対策
- ・H26(2014)年度～H30(2018)年度の5か年の集中取組み期間とする。

目標

- ・不法投棄ごみの減少
- ・住民が「環境が良くなった」という評価の向上

【※】西成特区構想について

大阪市では、平成24年10月に取りまとめられた「西成特区構想座談会報告書」の提言を受けて、平成25年度から具体的な事業等を実施。環境・福祉、観光、子ども子育て、地域資源活用の専門部会を開催し、短期、中長期別に事業を推進している。

1 覚せい剤等薬物対策

(1) 取締活動

あいりん地域に薬物を購入に来た末端乱用者、路上密売人等の検挙、密売組織の捜査等取り締まりを徹底する。

- **薬物事犯取締体制の強化【大阪府警】**

⇒ 西成警察署、府警本部薬物対策課を中心に特別捜査体制を確立。府下の警察署とも連携の上、密売組織や末端利用者に対する徹底した取締りを行う。

- **取締用機材・鑑定用機材の整備【大阪府警】**

⇒ 内偵用機材、採証資機材を整備し、内偵捜査による客観証拠の収集、被疑者の早期身柄確保を行う。

- **街頭犯罪防犯カメラの整備【大阪府警】**

⇒ あいりん地域内に45台を整備し、犯罪の抑止対策に取り組む。

1 覚せい剤等薬物対策

(2) 地域における薬物対策

地域における薬物対策として、総合的な取組みを推進。行政・地域が一体となって、薬物乱用防止啓発を行う。また、薬物乱用・依存症者や家族の精神保健福祉面でのケアはなかなか進んでいない現状であることから、専門的な患者ケアを実施する。

● 薬物乱用防止の啓発【大阪府】

① 薬物乱用防止PRイベントの実施(1年目)

地域住民等と連携し、薬物を許さない旨をPRするイベントを開催。覚せい剤など薬物撲滅への機運を盛り上げ

② ポスター等による啓発の実施

・駅、簡易宿泊所、商店街などにポスター掲示やちらしを設置し、薬物を許さない旨をPR

・大阪市営地下鉄、市バス、市ごみ収集車、地域に根付いた各企業(コンビニ・銀行等)などに掲出協力を求め、覚せい剤など薬物撲滅をPR

● 薬物依存症者等ケア【大阪府・大阪市】

大阪府こころの健康総合センター・大阪市こころの健康センター協働で、西成区を含めた府内全体の患者等のケア水準を向上。

① 専門的ケア強化

当事者支援のための専門プログラムの実施、家族支援の教室の拡大、強化

② 専門研修

関係機関職員(保護観察所・保護司含む)への専門研修の実施、医療従事者への専門研修実施

③ 社会復帰支援の強化

当事者の社会復帰のための体制を整備・強化

2 まちづくり、安全・安心の取組み

(1) 不法投棄ごみ対策

行政による不法投棄ごみの早朝を含む収集、防止にかかる啓発や巡回、とともに、地域住民等と行政が協力し、自律的に不法投棄ごみが少ないきれいなまちをめざす。

● 公園及び道路における不法投棄ごみの処理【大阪市】

⇒ あいりん地域において、地域住民等と行政が協働し、徹底的なごみの清掃作業、大阪市直営事業の時間帯以外も収集することで、「ごみが放置されているとき」を短くする。

● 取締活動の推進【大阪府警】

⇒ 取締用機材等の整備による取締の推進

● 不法投棄ごみ防止にかかる啓発・巡回【大阪市】

⇒ 24時間体制で巡回を行うとともに、ごみの発生原因の調査を行い、排出ルールを作り、ごみの出し方などのルール定着にむけた啓発などを実施し、不法投棄ごみの発生を抑止に取り組む。

2 まちづくり、安全・安心の取組み

(2)通学路を中心とした安全対策

平成27年度に予定されている「今宮中学校区小中一貫校」の開校に向け、通学路への防犯カメラ設置や道路照明灯の整備等を進める。また道路不正使用による営業について、啓発を強化するとともに取り締まりを推進する。また環境整備の集中的な実施と併せて少年健全育成対策を強化する。

- 通学路や防犯上環境改善が必要なエリアにおける道路照明灯のLED化(約160灯)【大阪市】
- 通学路における防犯カメラの設置(6台⇒36台)【大阪市】
- 子どもの安全見まもり活動の活性化【大阪府警】
⇒ 菟之茶屋小学校区において、保護者・地域住民等の参加による登下校時の安全見まもり活動を活性化するため、26年度は警察専門嘱託員2名を配置のうえ、地域の見まもり隊に対する指導助言などを行う。
- 道路不正使用等の取り締まり・違法DVD等の摘発の拡充【大阪府警】
- 西成学校指導員の配置【大阪府警】
⇒ 学校指導員を西成区内に重点配置。26年度は4名体制で学校への巡回指導等を強化し、規範意識の醸成など少年の健全育成を図る。

あいりん地域を中心とする環境整備の取組み

平成26年度予算措置

内 容	予算額(百万円)	内 容	予算額(百万円)
覚せい剤等薬物対策	192.5	まちづくり、安全・安心の取組み	305.4
■取締活動 ・内偵用機材、鑑定用機材整備 ・街頭防犯カメラ整備 ■地域における薬物対策 ・薬物乱用防止啓発 ・薬物依存者等ケア強化	54.0 127.3 7.2 4.0	■不法投棄ごみ対策 ・不法投棄ごみ取締機材整備等 ・不法投棄ごみの処理、 防止にかかる啓発・巡回 ■通学路を中心とした安全対策 ・子どもの安全見まもり活動活性化 ・わいせつDVD取締機材等整備 ・道路照明灯のLED化、防犯カメラの設置	3.7 165.4 23.5 0.5 112.3

【26年度予算合計】 497.9百万円（大阪府 218.2百万円、大阪市 279.7百万円）

※ 大阪府は、5か年合計で5億円（大阪府警：4億5千万円、健康医療部：5千万円）を予定

※ 大阪市は、25年度から本格実施している西成特区構想事業のうち、関連事業を5か年計画に位置付け

推進体制

大阪府

健康医療部・関係部

薬物対策は、大阪府・大阪府警・大阪市等で構成する大阪府麻薬覚せい剤等対策本部(本部長:知事)において推進

大阪府警察

西成警察署・大阪市警察部・
関係部

・薬物対策として、捜査体制の強化
・通学路を中心とした安全対策として、子どもの安全見まもり隊サポーター等の配置

大阪市

西成区役所・関係局

まちづくり・安全・安心の取組みは西成特区構想と連携

フォローアップ

- 26年度に集中的に事業に着手するとともに、薬物対策、不法投棄ごみ対策、通学路の安全対策等について、より対策の実効性を高めるための様々な方策を検討し、結論を得たものについては実行に着手していく。
- 5か年計画の中での具体的な取組みについては、こうした検討に加え、対策の進捗状況やそれに伴い地域に見られる環境の改善、また隣接地域への影響にも留意しながら、必要に応じて柔軟に見直し等を加えながら対応していく。